

第57回 生体制御学セミナー

主催：埼玉大学理学部生体制御学科

Signals and Mechanism of Cellular Senescence by pErk1/2 and PKC Isozyme

Prof. In Kyoung Lim

Department of Biochemistry and Molecular Biology,

Ajou University School of Medicine (Korea)

日時： 2014年 10月10日（金曜日）

16:00 ~ 17:00

場所： 理学部8番教室（理学部2号館2階）

Lim 教授は韓国 Ajou 大学医学部で、細胞老化機構と肝臓がんの発がん機構について研究をされています。正常な細胞を *in vitro* で長期間培養すると、分裂を停止し増殖できなくなる状態が引き起こされます。この現象が細胞老化 Cellular senescence です。細胞老化は不可逆的と考えられていますが、Lim 先生は可逆的であることを見出されました。この新しい発見を含めて細胞老化に関する最近の研究を紹介していただきます。

問合せ 菅沼 雅美

坂井 貴文（内線 4308）